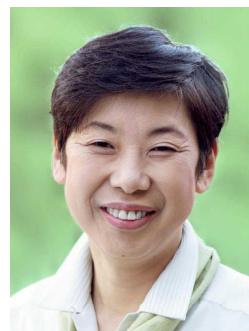


野村 羊子



と いっしょにつくる三鷹の会 ニュース no.71

■市長、事実誤認発言を訂正せず！

☆野村の一般質問への答弁で、

市長は「質問議員さんは、たしか、ぜひこのワクチンをですね、法定される前にも、三鷹市独自で接種した方が良いと質問されたように思っています。」と発言。



野村再質問「検診体制強化については触れており、意見書への討論は可能性はあるが、推進の質問を直接市に要望をしたかのような発言は、記憶がないので、記録を確認していただきたい。」

市長は「お気持ちを害されたのなら本意ではない」としたが、発言訂正はしなかった。

☆一般質問と、討論は別のもの。

休憩後も、市長は発言訂正せず、**事実誤認を放置**。賛成討論（*）したことをもって推進の発言をしたとしたいようだ。しかし、請願や意見書への討論は、議員同士の議論であり、市長には直接関係のないこと。議員自ら調査したことに基づき、市の姿勢を質し、市長の見解を問う一般質問とは全く違う。

☆事実確認を「気持ち」の問題にすり替え

質問したか否かの事実確認を求めているのに対して、議論をすり替え、事実誤認を隠すもの。自分の発言ミスを言い逃れようとする態度は、議会軽視でしかない。

☆議長に、記録確認と善処を求めた。

野村は、積極的にワクチン接種を推進したことはない。事実誤認を放置する議会でいいのか？

* 野村の「子宮頸がん」に関する発言（本会議場）

・2014年3月「予防接種法から『子宮頸がんワクチン』削除を求める意見書」提案、否決。

■野村の一般質問（6/10）

- 1 市民の暮らしを支えるまちづくりについて
 - (1) 子宮頸がん予防について
 - ア HPVワクチン接種の現状について
 - イ HPVワクチン接種者全員調査について
 - ウ 子宮頸がん検診に係る今後の対応について
 - (2) 東京外郭環状道路（外環道路）事業について
 - ア 外環道路による地下水への影響について
 - イ 家屋調査及びその他の環境影響被害について
 - ウ 外環道路の大深度使用認可について
 - エ 中央ジャンクション準備工事について
 - オ 地上部街路「外環の2」について

・2013年9月一般質問「子宮頸がんワクチン積極的勧奨中止」を受けて、副反応被害情報提供と相談体制強化等について質問。（*2）

・2013年6月「検証と被害救済を求める意見書」提案、可決。

・2010年9月に「接種助成を求める請願」に検診拡充を求める賛成討論。

・2010年6月の「公費助成を求める意見書」に検診と性教育拡充を求め、経済格差を命の格差にしないためにと賛成討論。

・2010年6月検診推進拡充の要望。

・2008年6月「接種承認を求める意見書」に、HPVワクチンは時期尚早と反対討論。



☆過去にも前例*2

昨年9月の一般質問の答弁で、市長は「HPVワクチンについては、かねてより市議会でも、ぜひこれは導入すべきであると。」と発言。野村は「キャンペーンがあった。私も十分な勉強が足りなかったと思う」と返した。

市長は揚げ足をとっているのか？施策実施の責任を議会に押しつきたいのか？ともかく問うていることに真正面から応えない姿勢は同じ。

■5/27までに大深度地下使用認可への「異議申立て」は1000人超。

うち計画線上の地権者は約200人、口頭陳述を申し出ている人も200人を超える。

別途、大深度前提の都市計画事業の承認・認可への「異議申立て」も行われた。国交省及び東京都に対してそれぞれ200人を超える人が申立てた。

■地上部街路「外環の2」練馬区3km、幅22mの道路に都市計画変更素案。

6月7,8,9日に説明会を、以後5回のオープンハウス開催の予定。本線と重なる大泉JCT1km部分に引き続き、練馬区内の着工をめざし動き出した。

「とめよう！外環の2 練馬の会」は抗議文を手渡し、都と質疑を行っている。

◆「リニア中央新幹線の法律問題」

～リニア訴訟を展望する～という、五十嵐敬喜＋関島保雄＋川村晃生による鼎談を聞いた。予定線の内、東京・神奈川は大深度。南アルプスはトンネルの予定。通常、被害が出ないとする環境アセスですら、あちこちでこの程度の影響、とせざるを得ない状況のようだ。JR東海が建設するとしても、結局税金で賄うようになるだろう。

東京外環道路に共通する問題が多々あるので、連携をとりながら進めていきたい。

◆福島原発告訴団“人間の鎖”6/4

検察審査会のある東京地方裁判所前で、「被害者の声を聞け」と“人間の鎖”を実施。約300人が集まった。『美味しんぼ』騒動の中、怒りを燃やし多くの市民が証言をした。



野村羊子といっしょにつくる三鷹の会news No.71
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-30-12-104
Tel&Fax:0422-72-2425
E-mail : issyonokai@nomura-yoko.net
Url : http://www.nomura-yoko.net
Twitter : @hitujinomura



野村羊子といっしょにつくる三鷹の会・			
2013年1月から12月			
I 収入	会費	44人	44,000
	寄付	33人	82,000
	バザー等		8,910
	特別会費		1,600,000
	その他		85
		小計	1,734,995
前年からの繰越金			1,309,528
総収入合計			3,044,523
II 支出	備品消耗品		660
	事務所費		986,576
	組織活動費		120
	宣伝事業費		211,363
	調査研究費		32,475
総支出合計			1,231,194
III 翌年への繰越金(I - II)			1,813,329

野村羊子の収支報告2013年5月～2014年4月

収入		
報酬	9,207,000	月額55万＋期末手当
審議会等報酬	40,000	都市計画審議会
旅費・日当	19,300	外環特別委員会視察他
合計	9,266,300	
支出		
税	3,002,837	所得税、住民税他
保険料等	999,940	年金、保険料等
議員互助会	24,000	
積立(審議会報酬分)	38,776	報酬二重取りとして税引き後金額を別途積立
活動費	266,557	研修費、会費、交流会、宿泊費等
事務費	203,230	通信費、雑費他
図書資料費	78,255	
交通費	252,090	みなかみ町、高崎市、いわき市、鉏路市、浦河町他
いっしょの会会費	1,600,000	
ブラッシュアップ費	274,475	医療費他
生活費	2,526,140	家賃(更新料含)他
合計	9,266,300	

◆5/13-14自治体議会政策学会、5/16地方×国政策研究会、5/18子ども子育て新制度-学童保育-等を機会を捉えて学ぶ。

◆2014 Summer Issyo-Tour ◆

☆夏の信州で69年前を想うー☆

長野市松代町「もうひとつの歴史館・松代」と地下壕／上田市「無言館」

この69年間、戦争の当事国として血や汗や涙を流すことがなかった、世界でも数少ない国に暮らす私たち。戦争を直接体験した人たちも少数派となった今だからこそ、「戦争では、どんなことが起こったのか」をしっかりと見つめ、平和への思いを重ねあいましょう。
どなたでも参加できます。お申し込みをお待ちしています！

<見学スポット その1 (1日目午後の予定)>

戦争遺跡 松代大本營の知られざる歴史と出会う
「もうひとつの歴史館・松代」と
松代大本營地下壕など(長野市松代町)
<http://www.matsushiro.org/index.html>

「もうひとつの歴史館・松代」は1998年2月に象山地下壕入口のすぐそばに市民の力で開館。これまであまり語られてこなかった「もうひとつの歴史」を伝えようと、松代大本營工事や、工事に伴って設けられた「慰安所」



に関する資料を展示・販売しています。歴史館内の説明もして下さるとのことです。

<見学スポット その2 (2日目午前の予定)>

第二次大戦の中、画学生が残した作品を鑑賞
「無言館」 (長野県上田市)
<http://www.city.ueda.nagano.jp/hp/shokan/0500/20100303105353073.html>

第二次世界大戦で志半ばで戦場に散った画学生の慰霊を掲げて造られた美術館。「信濃デッサン館」の分館として1997年に開館しました。画学生たちの残した絵画や作品、イーゼルなどの愛用品を収蔵、展示しています。



【日 程】

2014年8月30日(土)～31日(日) 1泊2日

集合時間・場所 09:00AM／三鷹駅近辺 ☆往復の移動は貸し切りバスです

宿泊場所 信州松代ロイヤルホテル 〒381-1215 長野県長野市松代町西寺尾 1372-1

TEL : 026-278-1811

費用 ¥23,000 <予定：交通費、宿泊費(1泊2食)、見学料込み>

※集合時に集金。金額の明細は参加者に通知します

◆ ツアー参加者の皆さんには「旅のしおり」を配布します ◆

定員 25名!

お問い合わせは 野村羊子といっしょにつくる三鷹の会(いっしょの会)までお気軽に!

issyonokai@nomura-yoko.net FAX 0422-72-2425

大切なお願い：ツアーの参加申し込みは6月30日(月)までにお願ひします

<×切延長7/31まで>